

平成26年
春の褒章

黄綬褒章 (業務精励 建築設計監理業)



仲元 典允氏
㈱現代設計代表取締役社長

㈱現代設計の代表取締役社長を務める仲元典允氏が平成26年度春の褒章で黄綬褒章に輝いた。仲元氏は、40年以上に渡り建築設計監理業務に携わり、業界の発展に尽力。建築士事務所の業務環境改善や後進の指導にも努めており、建築を指す若い技術者が建築に夢を持ち魅力ある業界になるよう力を注ぐ。沖縄の風土や環境に配慮した設計にこだわり、数多くの作品に携わり遺憾なく実力を発揮している。仲元氏のこれまでの功績を紙面にて紹介する。

功績抜粋

○建設事業功労
仲元氏は、昭和43年3月に沖縄県立沖縄工業高校建築科を卒業、同年4月にはアダン建築設計事務所に入社し、設計技術者として歩み出す。その後、沖縄と東京の設計事務所勤務を経て、昭和53年9月に「㈱現代建築設計事務所」に入

社、平成10年4月には「㈱現代設計(現在：㈱現代設計)」に社名変更を行い、代表取締役社長に就任

現在に至っている。仲元氏は、建築設計につ

業界の業務環境改善に尽力

人材育成で社会に貢献

いて、平成元年に㈱日本建築士事務所協会全国大会沖縄大会で「浦添市立前田小学校」の設計を行い県知事賞を受賞したほか、平成9年には南風原町役場庁舎のプロポーザル、平成10年には、南風原町立津嘉山小学校のプロポーザル、平成15年には、那覇市消防庁舎設計競技で1位に輝くなど数多くの実績を残している。そのほか、建築意匠のみならず建築積算業務についても、深い造詣を持ち、

沖縄県知事公舎、多良間空港ターミナル、県立ウリミバ工大増殖施設などがあ

○団体事業功労

(一社) 沖縄県建築士事務所協会における実績では、平成11年5月に同協会の理事に就任して以来、「総務委員長」「事業委員長」を歴任し、平成19年5月には副会長に就任。その後、事務所業務改善を研究する「業務委員会」や本会各種事業を行う「事業委員会」、業務に係る技術研修や講習を所管する「技術委員会」など担当副会長として実績を残した。平成23年5月の通常総会において、第30代会長に就任した。

への要請活動にも積極的に参画した。平成23年1月には、県と建築士事務所協会を含む建築4団体とで「沖縄県被災建築物応急危険度判定・被災宅地危険度判定活動等に必要な判定士の派遣等に関する協定」を締結。平成25年1月には、沖縄県労働金庫と「社団法人沖縄県建築士事務所協会業務提携ろうきん住宅ローンに関する協定」を締結し、協会員が設計工事監理する住宅の建築主に対し、貸出金利を優遇する仕組みを設けた。

建築設計業務の中でもその重要性を深く認識。講習会などを企画し、若手技術者の技術研鑽を図るなど人材育成にも貢献している。平成10年からは、事務所の技術者教育にも力を注ぎ、一級建築士8人、設備一級建築士1人、建築積算士6人を育成した。

代表作品は、在沖縄米国総領事館、県立北部病院、

二級/木造建築士定期講習」の講師を担当。新業務報酬基準に係る新告示第15号の遵守について、各自治体